



☆ライフセービング

水辺などの事故における安全、確実、迅速な救命活動を指す。応急手当ては水辺だけでなく、日常のあらゆる場面で必要とされ、ライフセーバーの活動も水辺に限られるわけではない。スポーツとしては勝利を目指すものの、ライフセービングの技能、体力、知識を高め、実際の活動に役立てて普及・発展させる役割がある。勝利が一番の主眼ではないことは「ゴールの先に救う命がある」という理念に表れている。



全日本選手権オーシャンウーマンで6位入賞した飯田充紀選手

飛躍誓う “オーシャンウーマン” ライフセービング部 飯田充紀選手(文4)

ライフセービング部の飯田充紀選手(文4)が2025年9月の第40回全日本学生選手権(インカレ)で女子サーフ3位、同10月の第51回全日本選手権でオーシャンウーマン6位の好成績を収めた。幼少期から続けてきた水泳で培った持久力を強みに果敢に挑戦した。同部の女子選手としては、両大会とも過去最高の成績という。2026年のシーズンはさらなる飛躍を誓っている。

(競技写真は飯田選手提供、14～17ページに関連記事)



3位に入ったインカレ女子サーフレース